

◇ R6 年度 指定管理者事業評価書

施設名	志津南まちづくりセンター			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	まちづくり協働部	まちづくり協働課	初年度	18,120,000円		16,393,985円	事業収益を事業で還元するなど、効果的な予算執行が行われた。	市民の文化の向上と芸術の振興を図り、文化芸術を通じた街づくりを進める。
施設HPアドレス	https://www.shizu373.net/			2年目	18,150,000円	17,269,777円	適正な処理を行い、内部・外部の監査を受けている。	地域まちづくりの拠点として、利用者のことを一番に考えた運営を行っている。
指定管理者名	志津南学区まちづくり協議会			3年目	18,804,636円	16,352,121円	適正な処理を行い、内部・外部の監査を受けている。	地域まちづくりの拠点として、利用者のことを一番に考えた運営を行っている。
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日			4年目	18,548,004円	18,707,645円	適正な処理を行い、内部・外部の監査を受けている。	地域まちづくりの拠点として、利用者のことを一番に考えた運営を行っている。
評価対象期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日			5年目	18,658,740円	18,375,233円	適正な処理を行い、内部・外部の監査を受けている。	地域まちづくりの拠点として、利用者のことを一番に考えた運営を行っている。

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成29年4月1日
施設の供用開始日	平成29年4月1日
指定管理導入前の運営形態	供用開始と同時に指定管理者制度を導入

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
令和6年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
草津市立地域まちづくりセンター条例第3条に掲げる業務について、各事業を計画および実施する際には前例踏襲ではなく、地域の特色に合わせた事業展開が行えるよう創意工夫を図ります。また、利用者が安全・安心して利用できるよう管理運営に努め、貸館件数や利用者数の増加を図ります。		利用者のニーズを踏まえながら地域の特色を活かした取組を実施されたことにより更なる地域住民の交流を図られた。 各事業の実施にあたっては前例踏襲ではなく、様々な創意工夫を行ったことが利用者数・貸館件数ともに前年対比で増加することに繋がったと考える。 今後も引き続き利用者が安全・安心して利用できるよう管理運営に努め、貸館件数や利用者数の増加に期待したい。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
地域の特色に合わせた事業展開に関しては、子どもが多い地域を対象とした、「子どもフェスタ」を10月に開催し、昨年より200人以上多い親子連れ等1,800人の来場者がありました。また、センターでは、事務所の部屋の間の壁を一部撤去し、職員全員が同じ空間で仕事をする事ができ、お互いの仕事を共有することができるようになりました。また、来館者への対応も効率が上がるとともに、対応状況の共有ができるようになりました。そして貸館件数、利用者数に関しても、前年度より増加しました。		(応募状況等(非公募の場合は、非公募理由等)) 地域の活動拠点である地域まちづくりセンターを中心として、地域における関係諸団体と連携し、地域住民とともに地域のまちづくりを包括しているまちづくり協議会が知見と経験を活かし、発展的に管理・運営ができるのは現指定管理者以外にはなく、非公募による選定とした。 (利用者数の状況等) 地域住民を対象とした公的な役割が大きく、市場原理に左右されることは望ましくないことから、使用料金制としているが、利用者数の増加を目指し、地域の活動拠点等として利用していただけるよう努めていただいた。	

◇施設に係る主な指定管理業務
<ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくりセンターの運営および維持管理に関すること ・草津市立地域まちづくりセンター条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設の管理運営に関する業務		
評価項目1	指定管理者の自己評価	市（施設所管課）の評価
上半期評価	貸館業務に関しては、各種サークル（計36）・地域サロン・町内会会議等、利用が多い（上期：10,378名、前年同期：10,640名）。その為、大幅な新規利用受け入れが難しい現状である。使用料徴収・市への報告も問題ない。緊急時対応として、消火器設置場所・避難経路を各部屋に掲示済みである。コロナ対策としては、継続して各部屋に消毒液を置いている。	上半期評価 仕様書の基準を遵守し、貸館業務をはじめとする管理運営について適正に実施された。貸館の利用者は前年同期と比べると多少減少しているものの、他学区と比べ多くの方々に利用いただき、地域の活動に参画されている。
☆☆☆☆		☆☆☆☆
下半期評価	貸館業務では、利用延べ人数は昨年度に比べて200人程増加している。委員会等の会議にもセンター利用することが多くなっている。利用者には、次の利用者が気持ちよく使ってもらえるようセンター独自の「使用報告書」に記入いただき、掃除や備品管理等も徹底している。	下半期評価 上半期に引き続き仕様書等に定める基準を遵守し、適正な貸館業務を実施された。利用者数・貸館件数ともに前年対比で増加し、避難経路や連絡網を各部屋に掲示する等、緊急時に備えた対応の工夫が行われた。
☆☆☆☆		☆☆☆☆
		今後も貸館申請にかかる事務について、丁寧な対応を期待する。

施設および備品の維持管理等		
評価項目2	指定管理者の自己評価	市（施設所管課）の評価
上半期評価	常に利用者が快適に利用して頂けるよう、毎日開館前に職員全員で各部屋を点検・掃除をしている。敷地内の剪定・除草も行っている（一部外部委託）。利用者全員での掃除・消防訓練は、11月末に行う予定。備品に関しては、備品管理台帳を備え、管理している。	上半期評価 仕様書等に定める基準を遵守しながら、施設および備品の維持管理のため設備機器や清掃について適切に実施されるとともに、握力測定器をはじめとした健康器具の設置や給茶機の導入、サテライト図書館としての場所を提供するなど、利用者サービス向上のため、創意工夫されている。
☆☆☆☆		☆☆☆☆
下半期評価	常に利用者が快適に利用して頂けるよう、毎日開館前に職員全員で各部屋を点検・掃除をしている。保守点検に関しては、業務委託で適宜点検を行っている。年末には、センター利用団体と職員で館内の清掃をし、その後、消火器を使って防災訓練を行った。利用者サービスとしては、引き続き、草津図書館より借りた図書の貸出しを行っている。	下半期評価 上半期に引き続き仕様書等に定める基準を遵守された。利用者の安心安全な施設利用のため職員全員で各部屋の点検・掃除に努められた。特に、清掃業務に関して毎朝の消毒・清掃や自主教室等で使われた方にごみやほこりの確認をチェックリストに記入していただくなど美観の維持の工夫がされている点は評価できる。また草津図書館より毎月100冊借りた図書の貸出しやゴーヤカーテン、めだかの飼育等、利用者サービスの向上に向けた取組も実施された。
☆☆☆☆		☆☆☆☆

センター条例第3条に掲げる事業の実施に関する業務		
評価項目3	指定管理者の自己評価	市（施設所管課）の評価
上半期評価	毎月志津南newsを発行、まちづくり協議会・まちづくりセンター・各団体の活動を具体的に発信・報告をしている。学びの場の提供の為、やすらぎ学級、史跡探訪、パソコン講座を実施した。館内サロンには、観葉植物等を置き、くつろげる空間を作っている。図書貸し出しも行っており、利用も多い。そして新規ホームページを立ち上げた。	上半期評価 仕様書の基準を遵守して地域ニーズに応じた講座・講演の開催や市政情報の発信について適切に実施された。また、ノートパソコンを活用した講座の実施や、高齢者向けに健康講座を実施するなど、積極的な事業運営に努められた。
☆☆☆☆		☆☆☆☆
下半期評価	毎月志津南newsを発行、まちづくり協議会・センター・各種団体の新しい情報を発信している。またホームページにも、新規事業のお知らせ、活動報告等、常に新しい情報を更新している。地域活動室、サロンを利用し、委員会や町内会の引継ぎ、話し合いができる場所を設けている。そしてサロンには、体重計や圧力計を設置し、利用者も多い。	下半期評価 上半期に引き続き仕様書等に定められた基準を遵守し、毎月の地域情報紙の発行やホームページなど、広く情報発信に努められた。特に、広報活動において学校と連携をしてsigfyを活用した情報発信がされており、住民ニーズに応じた対応は特に評価できる。なお、リニューアルされたホームページについては、地域のニーズに沿った情報が常に更新される等、工夫されていた。
☆☆☆☆		☆☆☆☆

組織の管理運営および提出物にかかる業務		
評価項目4	指定管理者の自己評価	市（施設所管課）の評価
上半期評価	経理面では常にシビアに管理し、毎月1回職員会議で内部監査を行い、出納簿や通帳、収支決算書を全てを開示。見える化を徹底し、全員が共有し不正防止に努めている。アンケートでは、駐車場が狭いとの声が多いが、現状ではセンターだけの解決は難しい。	上半期評価 仕様書に定められた基準を遵守し、職員の配置や研修などの経営管理について適切に実施された。また、報告書や照会等における提出および回答については迅速に対応いただき、また、報告・連絡・相談においても適切に行っていた。経費削減においても、こまめに照明のオンオフを徹底し、必要最低限の空調管理を実施いただいている。
☆☆☆☆		☆☆☆☆
下半期評価	経理面では常にシビアに管理し、毎月1回職員会議で内部監査を行い、出納簿や通帳、収支決算書を全てを開示。見える化を徹底し、全員が共有し不正防止に努めている。9月、10月に職員の入れ替わりがあった為、職員同士で指定管理業務等、改めて確認をした。経費削減に関しては、使用しない部屋のエアコン、電気は消すようにしている。	下半期評価 上半期に引き続き仕様書等に定められた基準を遵守し、組織運営を行われた。出勤簿に関しては、常時2名以上が勤務する体制が確実にできているか素早く確認できるよう、データで管理されていた。
☆☆☆☆		☆☆☆☆
		定期的な利用者アンケートに加え、各イベントの実施後にもアンケートが実施され、より良い管理運営に向けて取り組まれた。経理面での徹底した管理体制については、他施設の模範となるよう引き続き期待したい。